

提供プログラムの事例紹介

分野②の場合…こんな声
への提案プログラムです！



地域のイベントには、元気いっぱいの子どもたちや大人が集まりますが、何か障がいをお持ちでなかなか参加しにくい、ということもや大人の方々にも気軽に来ていただけるような環境を作りたいと思っています。障がいの有無に関係なく、一人ひとりの個性を大事にしたコミュニケーション力を身につけられたらいいなあ・・・

- 研修プログラム：「不思議の世界・マジックレクチャー」
 - 指導する講師：ミスターかわづ（デフマジシャン）
- *助手&手話通訳者の木原さんと一緒にプログラムを進行します。

1回～3回
連続型
各90分

カリキュラム	
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロのマジックショーをみます。(20分) ○ マジックの練習をします。(3～4種類)
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ○ マジックを通して子どもとのコミュニケーションのとり方を学びます。 (話すタイミングや子どもの反応など、いままでの講師の経験をもとに過去にプログラムに参加した子ども達のお話を聞くことができます)
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなの前でマジックを披露します。(講師や他の参加者から生の意見をもらい、技術を地域で活かせるようにします)
準備物	
500円玉、輪ゴム、ティッシュペーパー、ロープ(紐)、紙コップ、トランプカード、ハンカチ、講師用控室	

研修プログラム参加者の声

講師の人柄に引き込まれる研修でした。ご自身の生い立ちやマジック上演の経験も盛り込みながら、ココロに届くメッセージはどうすれば可能なのか考えました。難しいテクニックが必要なのではなく、人間に対する気づきと少々やる気が大切なのだと分かりました。



手順をしっかり身につけると
スマートにマジックが決まります

分野②実技を通じたコミュニケーション力アップ研修のプログラム例

子どもとのコミュニケーションを高める研修、子どものやる気を引き出すコーチング研修、障がいがあるなど、さまざまな子どもを含む集団の遊び方研修、の基本プログラムがあります。申込み団体の希望・要望に即したプログラムをオーダーメイドします！